

1. 所属連盟・名前： 高体連 渡邊 浩二
2. 大会・研修会名： 全国高等学校総合体育大会・全国高体連審判研修会
3. 日程および会場： 平成24年7月25日（水）～27日（金）
ホテル金沢、いしかわ総合スポーツセンター
4. 講師： 相原 伸康、石黒 勉、安西 郷史、片寄 達、岩木 太郎
平原 勇次、渡邊 整、佐藤 誠、前田 喜庸、向井 和宏
5. 研修会のテーマ：より良い判定を目指して（4原則の実践とバスケットボールのゲームの精神を理解しよう）
6. 内容（講義・討論・実技など項目別に、できるだけ詳細に）
講義 大会に対する心構え～公平・平等～（相原 伸康氏）
 - ・4原則の実践
 - 「ボクシング・イン」ボールの位置やプレイヤーによって審判の位置を決め、どんなときでも10人のプレイヤーを掌握しておく。
 - 「スペース・ウォッチング」攻撃側プレイヤーと防御側プレイヤーのスペースを捉え、触れ合いの責任がどちらにあるかを見極められる動きが重要である。
 - 「ペネトレート」ボールがバスケットに近づけば（ショット・ドリブル・パス）、審判もバスケットに踏み込む。
 - 「オールウェイズ・ムービング」ボール、プレイの動きに対応して、絶えずよい視野、よい角度を求め審判も動き続ける。
 - ・バスケットボールのゲームの精神を理解する
 - ゲームの流れを切らさない、止めない
 - プレイヤーやコーチの心理・行動を理解する
 - ゲームを感じるために！～インターハイ審判員としての共通理解～（佐藤 誠氏）
 - ・感じる力＝審判力
 - ゲーム中に変化や違和感をどれだけ感じることができるか。
 - ・プレイをセットで確認する
 - ・自分の責任を果たす
 - 状況に応じて自分のしなければならないこと（見るべき場所・確認しなければならないこと）しっかり行う。
 - 国際試合を経験して（平原 勇次氏）
 - ・Concentration、Criteria、Consistency、Communication

実技 講師：石黒 勉氏、岩木 太郎氏
研修会を判定のためのヒント、きっかけにする
リード・トレイルの役割分担の確認
“ボールとその周辺”の意識を持つ
7. 所感（刺激を受けたこと・滋賀県の審判に伝えたいことなど）
 - ・自分の課題を常に意識し、緊張感を持って審判する。
 - ・違うカテゴリーのゲームを積極的に審判する。